

とら堤瓦版

きれいな水を守り、自然豊かな安らぎの場を設け、
古きを想い語らい交流の輪を拡げるために・・・

第8号

“とら伝説”のいわれのある『ため池・とら堤』は、長年にわたり、農業用水の水源として地域農業の礎を成してきました。また、春には桜、夏には昆虫、秋にはキノコ、冬には渡り鳥に代表される自然に満ち溢れる空間で、古くから地域の人達に親しまれています。

しかし、老朽化にともなう堤体浸食や漏水などの影響により破堤の危険性があることから、県営ため池等整備事業により改修するとともに、豊富な自然を活かした利活用保全施設の整備を官民協働で取り組んでいます。

「とら堤公園」に白鳥の群れがやってきました！

最近「とら堤公園」に足を運んでくださいましたか？「とら堤公園」には沢山の水鳥が飛来するようになりました。鴨はもちろんのこと、今年の3月には白鳥が約30羽も観測されているんですよ！

来年も再来年も白鳥の親子が来てくれることを願って、今回は、白鳥の生態について少しご紹介したいと思います。白鳥をみんなで向かい入れてあげましょう！！

☀ 白鳥の生態 ☀

- ① 白鳥は、警戒心が非常に強いが一度安全だと知った場合は親しみやすくなります。
- ② 一度ひどい目に会った場所を知っていてなかなか近寄りません。
- ③ 家族の絆が非常に強く、いつもいっしょに行動します。
- ④ 白鳥の好んで食べるものは、湖に自生しているマコモなどです。人工給餌ではシイナ(米の未成熟のもの)、麦、パンくずなどです。
- ⑤ 白鳥は外見から雌、雄の区別が付きません。寿命(飼育の場合)は20～30年だろつといわれています。
- ⑥ 新しく飛来する白鳥もありますが、毎年渡つて来る白鳥が多いです。

☀ 飛来ルート ☀

白鳥は一般にシベリアに生息し、5～6月頃産卵、ヒナをかえして、秋になると餌を求めて北海道に集結！10月上旬からさらに南下してきます。

日本で冬をすごし、3月中旬頃から春の訪れとともにまたシベリアへ帰っていきます。

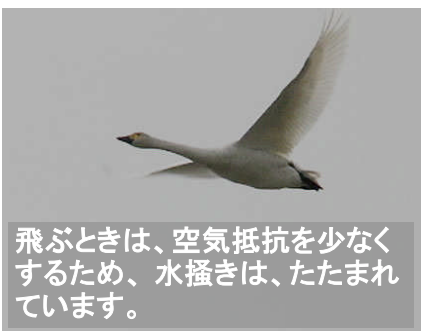


☀ 水かきについてご紹介 ☀

白鳥の水掻きの大きさは、なんと145mm！大きい水掻きは、助走時・着水時、泳ぐときに役立ちます！！



体重が重いため、水を大きい水掻きで蹴って、10mほど助走して飛び立ちます。



飛ぶときは、空気抵抗を少なくするため、水掻きは、たたまれています。

☀ 白鳥は、「とら堤公園」を寝床としています。12月～3月ぐらいの夕方以降から朝方6時ぐらいまでに行ってみ

ズレ白鳥に合ラスニレ間違いたしですんん”

栈橋工事完了の様子

5回の調整会を開き賛否両論が出る中ようやく製作に至った栈橋です。老朽ため池整備工事の一環であること念頭に置いていただき、延長の縮小、基礎方式の変更などの調整にご理解いただきました。

公園の“シンボル”が完成し、「とら堤公園」らしくなってきたかな？



栈橋からは水中がみえます。何かいないかなあ～？向こう岸には沢山の鴨がいます。鴨さん、こっちおいで～！！



先端は六角形で

お花見会の様子

この栈橋は、「とら堤公園」の傍観用施設として整備されましたが、安全施設も含めた周辺施設整備が平成18年度も引き続き行われることから、まだ、自由に利用してもらうことができません。そこで、4月15日に公開日を設けました。



水の中はどんな風に整備されたのかな？

波で削られていた部分に張りブロックをしました!!



水中には、冬場栈橋が載る受台があります。

水中のコンクリートブロックと栈橋をチェーンでつなぎ揺れから守っています。

御意見・御連絡先

〒958-8585 新潟県村上市田端町6-25
村上地域振興局 農林振興部 農村整備課 服部・會田
TEL 0254-52-7952 FAX 0254-52-6865 Email T07101M1@mail.pref.niigata.jp

すいよものいえの行た決内
。いろごでとし様で。ま容
たし注、思て子、瓦りも
しく目今い行を調版ま大
まおの後まきお整のし枠
願程とすた伝会発 が

編集後記